

2023年8月3日

各位

会社名 カルナバイオサイエンス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎  
 (コード番号: 4572)  
 問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美  
 (TEL: 078-302-7075)

**(訂正) 「行使価額修正条項付第 19 回新株予約権の取得及び消滅に関するお知らせ」  
 の一部訂正並びに月間行使状況に関するお知らせについて**

当社は、2023年8月1日に公表いたしました「行使価額修正条項付第 19 回新株予約権の取得及び消滅に関するお知らせ」について、一部訂正すべき事項が判明いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

8月1日に行使価額修正条項付第 19 回新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）について行使請求（500 個、行使価額 47,425,000 円）がありましたが、証券保管振替機構による受付がなされず、行使が認められませんでした。しかしながら、証券保管振替機構による訂正手続きにより、行使が有効に認められることになりました。よって、取得及び消滅する本新株予約権の数並びに関連する内容について訂正するものです。

また、本新株予約権に関する 2023 年 8 月における月間行使状況につきましても、併せてお知らせいたします。

記

**【訂正箇所】**

訂正箇所に下線を付しております。

また、訂正後の開示内容として「行使価額修正条項付第 19 回新株予約権の取得及び消滅並びに月間行使状況に関するお知らせ」を添付しております。

<訂正前>

1. 本新株予約権の取得及び消滅の概要

(省略)

(2)	取得及び消滅する 新株予約権の数	<u>13,558 個</u>
(3)	取得及び消滅日	2023年8月1日
(4)	取得価額	<u>7,999,220 円</u> 本新株予約権 1 個につき 590 円（発行価額と同額）

(省略)

2. 本新株予約権の取得及び消滅の理由

当社は、臨床開発を進めている BTK 阻害剤 AS-0871 及び AS-1763、並びに CDC7 阻害剤 AS-0141 の臨床試験費用、並びに、新規パイプラインの創製及び導入のための費用に充当する目的で、2021 年 7 月 30 日に Cantor Fitzgerald & Co. を割当先として本新株予約権を発行いたしました。本新株予約権につきましては、本日まで 11,315 個が行使され、発行価額 14,675,070 円、行使価額 1,158,706,000 円を合わせて、調達金額

は1,173,381,070円となり、調達した資金は、2022年までの臨床試験費用（807百万円）及び新規パイプラインの創製のための費用（366百万円）に充当いたしました。一方、当社株価が本新株予約権の下限行使価額（当初966円、2022年12月9日修正後948.5円）を下回って推移したことから、13,558個については行使が行われませんでした。

（省略）

### 3. 今後の見通し

（省略）

#### 【ご参考】カルナバイオサイエンス株式会社第19回新株予約権の概要

（省略）

(5)	2023年8月1日 現在までの 行使済みの 新株予約権の数	<u>11,315個</u>
-----	--	----------------

（省略）

#### <訂正後>

##### 1. 本新株予約権の取得及び消滅の概要

（省略）

(2)	取得及び消滅する 新株予約権の数	<u>13,058個</u>
(3)	取得及び消滅日	2023年8月1日
(4)	取得価額	<u>7,704,220円</u> 本新株予約権1個につき590円（発行価額と同額）

（省略）

##### 2. 本新株予約権の取得及び消滅の理由

当社は、臨床開発を進めているBTK阻害剤AS-0871及びAS-1763、並びにCDC7阻害剤AS-0141の臨床試験費用、並びに、新規パイプラインの創製及び導入のための費用に充当する目的で、2021年7月30日にCantor Fitzgerald & Co.を割当先として本新株予約権を発行いたしました。本新株予約権につきましては、2022年4月までに11,315個が行使され、発行価額14,675,070円、行使価額1,158,706,000円を合わせて、調達金額は1,173,381,070円となり、調達した資金は、2022年までの臨床試験費用（807百万円）及び新規パイプラインの創製のための費用（366百万円）に充当いたしました。また、本日付けでさらに500個が行使され、47,425,000円（行使価額）を調達いたしました。

一方、当社株価が本新株予約権の下限行使価額（当初966円、2022年12月9日修正後948.5円）を下回って推移したことから、13,058個については行使が行われませんでした。

（省略）

### 6. 今後の見通し

（省略）

【ご参考】カルナバイオサイエンス株式会社第19回新株予約権の概要  
(省略)

(5)	2023年8月1日 現在までの 行使済みの 新株予約権の数	11,815個
-----	--	---------

(省略)

【月間行使状況（8月1日）のお知らせ】

3. 本新株予約権の月間行使状況（8月1日）

(1)	銘柄名	カルナバイオサイエンス株式会社第19回新株予約権
(2)	対象月間の交付株式数	50,000株
(3)	対象月間中に行使された新株予約権の数および発行総数に対する率	500個（発行総数の2.01%）※1
(4)	2023年7月31日時点における未行使の新株予約権の数	13,558個（1,355,800株）
(5)	2023年8月1日終了時点における未行使の新株予約権の数	0個（0株）※2

※1 行使比率は小数点以下第3位を切捨てしております。

※2 上記のとおり、本新株予約権は、行使可能期間の終了をもって消滅するため、本日2023年8月1日終了時点における未行使の新株予約権の個数は0個となります。

4. 対象月間における行使状況

行使日	交付株式数（株）		行使価額（円）	行使された新株予約権の数（個）
	新株	移転自己株式		
8月1日（火）	50,000	—	948.5	500

5. 行使制限に関する状況（東京証券取引所「有価証券上場規程第434条」、日本証券業協会「第三者割当増資等の取扱いに関する規則」に基づく行使制限の遵守状況）

①すべての回数を合算した交付株式数（株）	②発行の払込日時点における上場株式数（株）	③行使制限に係る行使比率（①／②）（%）
50,000	12,493,900	0.40

※行使比率は小数点以下第3位を切捨てしております。

以上

(添付資料)

2023年8月1日

各位

会社名 カルナバイオサイエンス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎  
(コード番号: 4572)  
問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美  
(TEL: 078-302-7075)

**行使価額修正条項付第19回新株予約権の取得及び消滅  
並びに月間行使状況に関するお知らせ**

当社は、2021年7月30日に発行した行使価額修正条項付第19回新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）について、行使可能期間（2021年8月2日から2023年8月1日）の終了に伴い、残存する本新株予約権の全部を、第三者割当て契約の定めに基づき割当先より取得いたしました。また、本新株予約権は行使可能期間の終了をもって消滅しますので、下記のとおりお知らせいたします。加えて、本新株予約権に関する2023年8月における月間行使状況につきましても、併せてお知らせいたします。

記

1. 本新株予約権の取得及び消滅の概要

(1)	取得及び消滅する 新株予約権の名称	カルナバイオサイエンス株式会社第19回新株予約権
(2)	取得及び消滅する 新株予約権の数	13,058個
(3)	取得及び消滅日	2023年8月1日
(4)	取得価額	7,704,220円 本新株予約権1個につき590円（発行価額と同額）
(5)	消滅後に残存する 新株予約権の数	0個

2. 本新株予約権の取得及び消滅の理由

当社は、臨床開発を進めているBTK阻害剤AS-0871及びAS-1763、並びにCDC7阻害剤AS-0141の臨床試験費用、並びに、新規パイプラインの創製及び導入のための費用に充当する目的で、2021年7月30日にCantor Fitzgerald & Co.を割当先として本新株予約権を発行いたしました。本新株予約権につきましては、2022年4月までに11,315個が行使され、発行価額14,675,070円、行使価額1,158,706,000円を合わせて、調達金額は1,173,381,070円となり、調達した資金は、2022年までの臨床試験費用（807百万円）及び新規パイプラインの創製のための費用（366百万円）に充当いたしました。また、本日付けでさらに500個が行使され、47,425,000円（行使価額）を調達いたしました。

一方、当社株価が本新株予約権の下限行使価額（当初966円、2022年12月9日修正後948.5円）を下回って推移したことから、13,058個については行使が行われませんでした。

本日、行使可能期間の終了に伴い、残存する本新株予約権の全部を、第三者割当て契約の定めに基づき割当先より取得いたしました。また、本新株予約権は、行使可能期間の終了をもって消滅します。

なお、当社は、第20回新株予約権を2022年12月8日に発行しております。当該発行時点において2023年～2024年の創業事業の研究開発費を41億円と計画し、第20回新株予約権による調達額（予定額2,779

百万円)を充当するとともに、本新株予約権による行使が進捗した場合にはこれによる調達金額(仮に最低行使価額948.5円で残りの全数の行使が行われた場合の調達金額1,286百万円)を充当することを計画致しました。その後、第20回新株予約権については、2023年4月6日に行使がすべて完了し、1,614百万円を調達しております。

本新株予約権及び第20回新株予約権による資金調達予定額に対する不足分につきましては、創薬事業及び創薬支援事業による営業キャッシュ・フロー並びに手許資金を充当するとともに、必要に応じて新たな資金調達を実施してまいります。

### 3. 本新株予約権の月間行使状況(8月1日)

(1)	銘柄名	カルナバイオサイエンス株式会社第19回新株予約権
(2)	対象月間の交付株式数	50,000株
(3)	対象月間中に行使された新株予約権の数および発行総数に対する率	500個(発行総数の2.01%)※1
(4)	2023年7月31日時点における未行使の新株予約権の数	13,558個(1,355,800株)
(5)	2023年8月1日終了時点における未行使の新株予約権の数	0個(0株)※2

※1 行使比率は小数点以下第3位を切捨てしております。

※2 上記のとおり、本新株予約権は、行使可能期間の終了をもって消滅するため、本日2023年8月1日終了時点における未行使の新株予約権の個数は0個となります。

### 4. 対象月間における行使状況

行使日	交付株式数(株)		行使価額(円)	行使された新株予約権の数(個)
	新株	移転自己株式		
8月1日(火)	50,000	—	948.5	500

5. 行使制限に関する状況(東京証券取引所「有価証券上場規程第434条」、日本証券業協会「第三者割当増資等の取扱いに関する規則」に基づく行使制限の遵守状況)

①すべての回数を合算した交付株式数(株)	②発行の払込日時点における上場株式数(株)	③行使制限に係る行使比率(②/①)(%)
50,000	12,493,900	0.40

※行使比率は小数点以下第3位を切捨てしております。

### 6. 今後の見通し

本新株予約権の取得及び消滅が2023年12月期の業績予想に与える影響は軽微であります。

【ご参考】カルナバイオサイエンス株式会社第19回新株予約権の概要

(1)	割 当 日	2021年7月30日
(2)	割 当 先	Cantor Fitzgerald & Co.
(3)	新株予約権の総数	24,873個（潜在株式数：新株予約権1個につき100株）
(4)	新株予約権の払込金額	14,675,070円（新株予約権1個につき590円）
(5)	2023年8月1日 現在までの 行使済みの 新株予約権の数	11,815個

本新株予約権の詳細につきましては、2021年7月14日付「行使価額修正条項付第19回新株予約権の発行及び第三者割当て契約（Qualified Institutional Placement「QIP」）の締結に関するお知らせ」をご覧ください。

以上